

龍谷大学親和会 龍谷ミュージアム

無料で優待証

龍谷ミュージアム 無料優待

期日:2018年3月末日まで

※1回のご来館につき、親和会会員(保護者)を含め2名まで無料でご入館いただけます。

※期間中何度でもご利用いただけます。

※本誌をミュージアム受付でご提示ください。

Ryukoku

親和会だより

113号
2017.9

親和会・親和会だよりに関するご意見、ご要望などは下記までお寄せください。



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学 親和会事務局

編集:龍谷大学 親和会だより編集委員会

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

Tel:075-645-7888 Fax:075-642-8867

Mail:sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp

<http://www.ryukoku.ac.jp/parents/index.php>



CONTENTS

2017年度親和会定期総会 報告	03
2017年度親和会本部役員紹介	05
全国保護者懇談会開催報告	06
2017年度親和会事業計画	08
2017年度親和会予算	09
2016年度親和会決算	10
2016年度親和会 優秀者表彰制度受賞者一覧	12
大学懇談会 講演録	14
Information	15
Schedule 2017年10月～2018年3月	
保護者相談窓口のご案内	

表紙写真：龍谷大学学友会体育局女子バレーボール部50周年記念祝賀会を開催

2017年7月15日(土)に深草学舎紫英館6階グリルにて、女子バレーボール部50周年記念祝賀会を開催いたしました。当日は卒業生12名を含む40名の関係者が出席しました。

女子バレーボール部は1967(昭和42)年に『排球部』として活動を開始し、その後『女子バレーボール認定同好会』となり、1986(昭和61)年に『女子バレーボール部』に昇格し、今年50周年を迎えました。

認定同好会時代に在籍していた卒業生からは、「当時は全国の舞台に立つことなど考えたこともなかった。現役生達には、是非とも日本一という偉業を成し遂げて欲しい。苦しいこともたくさんあると思うが、仲間を信じて、自分を信じて闘って欲しい。」との言葉をいただきました。

第56回親和会定期総会、親和会講演会を開催！

2017年5月13日(土)に、深草キャンパス3号館において、第56回親和会定期総会、親和会講演会、全国保護者懇談会(京都会場)を開催しました。



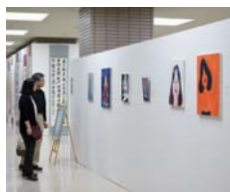
親和会定期総会は、年に1度、龍谷大学学生の全保護者へ案内を送付し、会計・会務の報告、予算の承認、理事及び監事の選出、その他必要な事項を審議いただく、親和会としても最も重要な会議です。多くの保護者の皆様に参加いただきやすいよう、今年度も全国保護者懇談会(京都会場)と合わせて開催いたしました。

全国保護者懇談会(京都会場)では、最初に、入澤崇学長にご挨拶いただきました。また、保護者の皆様に関心も高い龍谷大学の就職状況について、塩見洋一キャリアセンター長よりご説明いただき、保護者の方も熱心に耳を傾けておられました。

引き続き、定期総会においては、2016年度事業報告及び決算報告、2017年度新役員の選出、2017年度事業計画及び事業予算について審議をいただき、全ての議案について承認をいただきました。

2016年度より親和会の新たな取り組みとして実施しました「親和会優秀者表彰制度」につきましては、90の個人・団体を表彰したことを報告いたしました。この制度は、学業の分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励する制度です。(受賞者は、10ページをご覧ください)2017年度も引き続き事業を実施することを承認いただきました。

第56回親和会定期総会、親和会講演会を開催！



親和会講演会では、2017年4月に龍谷大学学長に就任されました入澤崇学長に、「人間形成の道と龍谷大学」をテーマに、多くの課題が山積する現代社会で、学生は何を指針として生きたらいいのか、龍谷大学で習得できる「新たな知性」についてご講演をいただきました。（講演内容については、次号お届け予定です）

保護者アンケートには、「人間力の基礎力をつけることが重視されており、素晴らしいと思いました」「龍谷大学の建学とその精神について入学生に対する思いがよくわかり、とても嬉しくなり協力していきたいと自覚ができました」「大学の歴史がよくわかり、大いに誇りをもちました」など、多数の好評な意見を頂きました。

講演会終了後は、子どもの学修成績について教職員と直接面談を行う「学修懇談会」、進路・就職について面談を行う「就職懇談会」、「留学説明会」、「学生生活相談」、「教職説明会」など様々な相談会を開催し、会場は熱心に相談される保護者の皆様で賑わいました。

定期総会・全国保護者懇談会の終了後は、3号館地下食堂において保護者相互の懇親を深める懇親会を開催。龍谷大学が誇る吹奏楽部とバトン・チア SPIRITSによる毎年恒例の共演アトラクションも懇親会に華を添え、和やかに懇親を深めていただくことができました。

また、キャンパス内においては、第96回創立記念降誕会のイベントが同時開催されていました。これは、本学の創立記念日と宗祖親鸞聖人の誕生日を併せてお祝いするイベントで、学生が主催する活動を保護者の方にもご覧いただくことができました。

2017年度親和会本部役員紹介



会長 岡 玲



副会長 鳥見 好宏



副会長 北條 悟



副会長 石野 元彦



監事 村岸 純子



監事 松本 智子



常任理事 大谷 弘子



常任理事 奥野 嘉奈子

全国保護者懇談会を全国29会場で開催、多数のご出席ありがとうございました

2017年度も京都を皮切りに全国29会場で「全国保護者懇談会」（保護者対象 大学・親和会共催事業）を開催いたしました。多くの皆さまにご来場いただき、誠にありがとうございました。アンケートにおきましても貴重なご意見、ご感想をいただきありがとうございました。来年度もより一層充実した懇談会にしていきたいと思ひます。

出席者の声（アンケートより）

- ・教授と直接お話できて、子どもの大学生活が見えてとても良かったです。
- ・全体説明会はとてもわかりやすく、良い勉強になりました。学修懇談会は子どものゼミの先生だったので、話を聞けて相談にも乗っていただけたので、安心しました。
- ・娘の学習態度や今後取り組む方向がよくわかった。
- ・大学の様子がよくわかり、身近に感じられました。就職のための準備についてもよかったので、良かったです。
- ・就職状況説明が具体的にわかりやすく、親として何をサポートしていけば良いかわかった。
- ・とても楽しく過ごせました。3年生の保護者の方と色々話せたことは、とても良かったです。
- ・子どもが、保護者が、どういった心構えで過ごし、将来を考えたらよいかを考える良い機会になります。来年も参加したいです。
- ・取得単位が心配でしたが、相談できて良かったです。



2017年度全国保護者懇談会出席者数

地域	会場	開催日	出席者数
北海道	JRタワーホテル札幌札幌	5月29日(月)	11
東北	ホテルメトロポリタン仙台	5月30日(火)	8
関東	パレスホテル東京	6月16日(金)	22
新潟	ANAクラウンプラザホテル新潟	6月15日(木)	41
富山・石川	ホテル日航金沢	7月3日(月)	58
福井	ユアーズホテルフクイ	7月4日(火)	37
長野	ホテルメトロポリタン長野	7月19日(水)	24
静岡	ホテルアソシア静岡	6月29日(木)	35
愛知・岐阜	名古屋マリオットアソシアホテル	7月18日(火)	78
三重	鳥羽国際ホテル	6月30日(金)	33
滋賀	大津プリンスホテル	6月11日(日)	269
京都	龍谷大学深草学舎	5月13日(土)	418
大阪	リーガロイヤルホテル大阪	7月16日(日)	730
兵庫	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	6月5日(月)	49
奈良	奈良ホテル	6月2日(金)	94
和歌山	ホテルグランヴィア和歌山	6月19日(月)	29
鳥取・島根※	米子全日空ホテル	5月28日(日)	34
岡山	ホテルグランヴィア岡山	7月11日(火)	59
広島	ホテルグランヴィア広島	7月10日(月)	104
山口※	ホテルサンルート徳山	6月13日(火)	25
徳島	ホテルクレメント徳島	6月18日(日)	31
香川	JRホテルクレメント高松	6月17日(土)	51
愛媛	松山全日空ホテル	5月22日(月)	29
高知	ホテル日航高知旭ロイヤル	5月23日(火)	31
福岡	グランドハイアット福岡	6月9日(金)	45
佐賀・長崎※	佐賀ワシントンホテルプラザ	6月8日(木)	21
熊本	ホテル日航熊本	7月6日(木)	50
大分	大分オアシスタワーホテル	6月12日(月)	20
鹿児島・宮崎・沖縄	城山観光ホテル	7月5日(木)	24

※開年開催／鳥取・島根（米子、松江）山口（山口、徳山）、佐賀・長崎

2017年度 親和会事業計画

A. 保護者対象事業

1. 2017年度(第56回)親和会定期総会の開催
日 時:2017年5月13日(土) 場 所: 龍谷大学深草学舎
2. 全国保護者懇談会(大学との共催)の開催
時 期: 2017年5月中旬～7月中旬
内 容: ①大学現況報告、②親和会事業説明、③個別相談またはグループ懇談(成績・就職・学生生活)④懇親会
3. 三者(大学・親和会・校友会)共催事業の開催
大学、親和会、校友会(卒業生組織)の三者による共催事業に取り組む。

■大学懇談会(大阪)の開催
大阪における保護者懇談会は、「大学懇談会」と称して、校友会(卒業生組織)とも連携の上、就職支援事業を強化した形で実施
日 時: 2017年7月16日(日) 場 所: リーガロイヤルホテル大阪

■龍谷大学ホームカミング・デー2017の開催
龍谷祭(学園祭)の開催期間中に保護者・卒業生を対象とした見学企画イベントを開催
日時・場所: 2017年10月28日(土) 瀬田学舎 2017年11月4日(土) 深草学舎
内 容: 本願寺書院大宮学舎見学ツアー、龍谷祭模擬店利用券配付 吹奏楽部・バトン・チアSPIRITSライブ等(予定)

■資格取得支援事業の開催
税理士や会計士等を目指す学生を対象に、龍谷大学校友会職域支部の職業会計人グループ(RAS)会員の協力のもと、説明会・相談会・講習会等を開催。
日 時: 4月～12月にかけて適宜開催 場 所: 龍谷大学深草学舎

■認知度向上及び志願者確保等を目的とした事業の開催
本学の認知度向上及び新たな志願者の掘り起こし等を目的としたイベント、事業を展開する。2017年度は重点地域として愛知・石川・大阪を設定し事業に取り組む。
日 程: 2017年5月～12月頃を予定 場 所: 愛知・石川・大阪
内 容: 入試イベントの開催、高大連携イベントの開催、地元中・高校生と本学課外活動サークルとの交流事業、合同企業説明会、メディア媒体による情報発信 等
4. 広報関連事業 「親和会だより」発行、保護者向けホームページ更新
広報関連事業として「親和会だより」を年2回発行、保護者向けホームページの更新。
5. 保護者への成績表送付事業支援(年2回予定)
送付時期: 第2学期成績 2017年3月下旬
第1学期成績 2017年9月下旬
送付対象: 各学部・短期大学部(大学院生、卒業判定対象学生は除く) 保証人宛に発送
6. 龍谷総合学園学校保護者会連合会活動
龍谷総合学園学校保護者会連合会活動へ参画し活動を推進。

B. 学生・大学支援事業

1. 親和会奨学事業の実施

■親和会海外研修奨学金制度(夏期・春期の年2回)
学生が自主的に計画した海外研修に対し奨学金を給付。
「自己研鑽コース(10万円以内)」
「研究コース(30万円以内)」

■親和会学生活動奨励金制度
学内外の活動を問わず、他の範となるべき優秀な業績をおさめた学生の団体に対して奨励金を給付。

■親和会学生救済型奨学金制度
修学の意志はあるが、保護者(家計支持者)の死亡・離職・失職等により学費工面が困難となった学生に対して、学費等支援を行う学生救済型の奨学金を給付。
2. 自然災害救済支援活動の実施

■親和会自然災害特別見舞金制度
学生・保護者の自然災害による被災者に対し、見舞金を給付。
また、東日本大震災により被災した学生の帰省費用の援助を実施。
3. 親和会助成事業の実施

■教育・研究活動助成制度
学生個人、又は団体による自主的な学修・研究活動を支援することを目的とし、課題研究発表会の開催や論文集作成等に対して助成。

■特別助成制度
全国大会出場、周年記念事業等の臨時的な課外活動及び大学事業に対して助成。
4. 入学記念品の贈呈
歓迎の意を込めて、新入生に記念品を贈呈。
5. 卒業時の表彰制度
卒業生の大学への帰属意識醸成を目的として、在学中、優秀な活動・業績を収めた学生に対し、「親和会長賞」を贈呈し、卒業式においてその表彰を実施。
6. 大学の学生支援事業への助成
龍谷大学が実施する学生支援事業に対し直接的な助成を行い、その事業の一層の充実及び拡大を目指せるよう協力する。
①課外活動等への助成
②学生健康管理(健康診断)への助成
③就職・キャリア開発支援業務への助成
④宗教教育活動への助成
⑤海外研修事業への助成
7. 防災備蓄品等整備にかかる助成
全学的な防火・防災に対応し、災害発生時の対応を強化するため、大学の行う防災備蓄品等整備にかかる費用への助成を行い、親和会として危機管理対策の充実に寄与。
8. 「仏教の思想」科目テキストにかかる助成
全学必修科目である「仏教の思想」科目を履修する入学生(編転入生含む)に対し、本科目のテキスト(「釈尊と親鸞」)の購入にかかる費用を助成。
9. 親和会優秀者表彰制度
様々な分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励。
10. 大学募金活動への協力
教育・研究・学生活動支援や施設整備の環境整備等の目的で、大学が実施する募金活動(主に新入生対象)に賛同し、寄付の呼びかけを行う。
11. 積立金事業
将来的な展望に立ち、継続的に学生生活を支援し、親和会事業を円滑に運営できるよう積立金事業を実施する。
①奨学金積立金
②学生施設・課外活動支援積立金
③学生災害特定引当積立金
④記念事業積立金

2017年度 龍谷大学親和会予算

自 2017年4月1日
至 2018年3月31日

■収入の部

		(単位:円)		
款 項	科 目	予 算 額 ①	前年度予算額②	前年比予算額差異 ③(①-②)
1	会 費	158,528,000	155,901,000	2,627,000
1	1 会 費	143,801,000	141,645,000	2,156,000
2	2 入 会 金	14,727,000	14,256,000	471,000
2	寄 付 金	0	0	0
3	雑 収 入	20,000	20,000	0
4	資産運用収入	35,293	86,314	△ 51,021
5	前年度繰越金	47,537,953	55,489,846	△ 7,951,893
合 計		206,121,246	211,497,160	△ 5,375,914

■支出の部

		(単位:円)		
款 項 目	科 目	予 算 額 ①	前年度予算額②	前年比予算額差異 ③(①-②)
1	事 業 費	149,250,000	149,180,000	70,000
1	1 課外活動助成費	18,400,000	18,400,000	0
1	1 クラブ活動助成費	10,000,000	10,000,000	0
2	2 集団指導助成費	5,000,000	5,000,000	0
3	3 学生会行事助成費	1,400,000	1,400,000	0
4	4 親和会学生生活助奨励金	2,000,000	2,000,000	0
2	2 福利厚生助成費	4,750,000	4,750,000	0
1	1 健康管理費	3,300,000	3,300,000	0
2	2 保健管理センター助成費	550,000	550,000	0
3	3 学生災害補償費	900,000	900,000	0
3	3 就職・キャリア開発助成費	10,000,000	9,000,000	1,000,000
4	4 学生生活助育助成費	16,200,000	16,200,000	0
1	1 スクールバス運行助成費	2,700,000	2,700,000	0
2	2 学生会館運営助成費	500,000	500,000	0
3	3 宗教教育助成費	2,000,000	2,000,000	0
4	4 特別助成費	11,000,000	11,000,000	0
5	5 国際交流助成費	3,500,000	4,500,000	△ 1,000,000
1	1 親和会海外研修奨励金	3,000,000	3,000,000	0
2	2 海外研修助成費	500,000	1,500,000	△ 1,000,000
6	6 全国保護者懇談会実施費	43,000,000	43,000,000	0
7	7 広報事業費	6,000,000	6,000,000	0
8	8 教育・研究助成費	8,000,000	8,000,000	0
9	9 共催事業助成費	4,000,000	4,000,000	0
10	10 新入生歓迎記念品費	5,200,000	5,200,000	0
11	11 卒業時表彰費	600,000	600,000	0
12	12 親和会学生会救済型奨励金	10,000,000	10,000,000	0
13	13 自然災害特別見舞金	2,000,000	2,000,000	0
14	14 保護者成績表送付助成費	4,000,000	4,000,000	0
15	15 防災備蓄品等整備助成金	1,500,000	1,500,000	0
16	16 「仏教の思想」科目テキスト助成費	7,150,000	7,280,000	△ 130,000
17	17 親和会優秀者表彰費	4,950,000	4,750,000	200,000
2	2 運 営 費	23,400,000	23,700,000	△ 300,000
1	1 人件費	4,500,000	4,500,000	0
2	2 印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0
3	3 郵便費	1,000,000	1,000,000	0
4	4 出張旅費	6,500,000	6,800,000	△ 300,000
5	5 会議費	6,500,000	6,500,000	0
6	6 記念品・謝礼費	3,000,000	3,000,000	0
7	7 備品費	200,000	200,000	0
8	8 雑費	200,000	200,000	0
9	9 慶弔経費	500,000	500,000	0
3	3 龍谷総合学園学校保護者会連合会費	1,240,000	1,200,000	40,000
4	4 引 当 積 立 金	20,000,000	20,000,000	0
1	1 奨学金積立金	5,000,000	5,000,000	0
2	2 学生施設・課外活動支援積立金	5,000,000	5,000,000	0
3	3 学生災害特定引当積立金	5,000,000	5,000,000	0
4	4 記念事業積立金	5,000,000	5,000,000	0
5	5 予 備 費	12,231,246	17,417,160	△ 5,185,914
6	6 次年度繰越金(決算後に確定)	0	0	0
合 計		206,121,246	211,497,160	△ 5,375,914

2016年度 龍谷大学親和会決算

自 2016年4月1日
至 2017年3月31日

■収入の部

		(単位:円)		
款 項	科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差異 ③(①-②)
1	会 費	155,901,000	155,398,000	503,000
1	1 会 費	141,645,000	140,728,000	917,000
2	2 入 会 金	14,256,000	14,670,000	△ 414,000
2	寄 付 金	0	0	0
3	雑 収 入	20,000	271,980	△ 251,980
4	資産運用収入	86,314	73,296	13,018
5	前年度繰越金	55,489,846	55,489,846	0
合 計		211,497,160	211,233,122	264,038

■支出の部

		(単位:円)		
款 項 目	科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差異 ③(①-②)
1	事 業 費	149,180,000	123,951,150	25,228,850
1	1 課外活動助成費	18,400,000	18,500,000	△ 100,000
1	1 クラブ活動助成費	10,000,000	10,200,000	△ 200,000
2	2 集団指導助成費	5,000,000	5,000,000	0
3	3 学生会行事助成費	1,400,000	1,400,000	0
4	4 親和会学生生活助奨励金	2,000,000	1,900,000	100,000
2	2 福利厚生助成費	4,750,000	4,750,000	0
1	1 健康管理費	3,300,000	3,300,000	0
2	2 保健管理センター助成費	550,000	550,000	0
3	3 学生災害補償費	900,000	900,000	0
3	3 就職・キャリア開発助成費	9,000,000	9,000,000	0
4	4 学生生活助育助成費	16,200,000	12,270,000	3,930,000
1	1 スクールバス運行助成費	2,700,000	2,700,000	0
2	2 学生会館運営助成費	500,000	500,000	0
3	3 宗教教育助成費	2,000,000	1,620,000	380,000
4	4 特別助成費	11,000,000	7,450,000	3,550,000
5	5 国際交流助成費	4,500,000	1,095,000	3,405,000
1	1 親和会海外研修奨励金	3,000,000	1,095,000	1,905,000
2	2 海外研修助成費	1,500,000	0	1,500,000
6	6 全国保護者懇談会実施費	43,000,000	39,289,903	3,710,097
7	7 広報事業費	6,000,000	4,500,000	1,500,000
8	8 教育・研究助成費	8,000,000	5,464,853	2,535,147
9	9 共催事業助成費	4,000,000	4,000,000	0
10	10 新入生歓迎記念品費	5,200,000	5,040,000	160,000
11	11 卒業時表彰費	600,000	476,280	123,720
12	12 親和会学生会救済型奨励金	10,000,000	1,300,000	8,700,000
13	13 自然災害特別見舞金	2,000,000	1,139,340	860,660
14	14 保護者成績表送付助成費	4,000,000	3,699,274	300,726
15	15 防災備蓄品等整備助成金	1,500,000	1,500,000	0
16	16 「仏教の思想」科目テキスト助成費	7,280,000	7,276,500	3,500
17	17 親和会優秀者表彰費	4,750,000	4,650,000	100,000
2	2 運 営 費	23,700,000	18,562,739	5,137,261
1	1 人件費	4,500,000	3,649,568	850,432
2	2 印刷製本費	1,000,000	903,452	96,548
3	3 郵便費	1,000,000	485,844	514,156
4	4 出張旅費	6,800,000	5,873,856	926,144
5	5 会議費	6,500,000	4,679,696	1,820,304
6	6 記念品・謝礼費	3,000,000	2,282,493	717,507
7	7 備品費	200,000	0	200,000
8	8 雑費	200,000	401,980	△ 201,980
9	9 慶弔経費	500,000	285,850	214,150
3	3 龍谷総合学園学校保護者会連合会費	1,200,000	1,181,280	18,720
4	4 引 当 積 立 金	20,000,000	20,000,000	0
1	1 奨学金積立金	5,000,000	5,000,000	0
2	2 学生施設・課外活動支援積立金	5,000,000	5,000,000	0
3	3 学生災害特定引当積立金	5,000,000	5,000,000	0
4	4 記念事業積立金	5,000,000	5,000,000	0
5	5 予 備 費	17,417,160	0	17,417,160
6	6 次年度繰越金	0	47,537,953	△ 47,537,953
合 計		211,497,160	211,233,122	264,038

2016年度親和会優秀者表彰制度受賞者一覧

様々な分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励する制度です。

(1) 大学院優秀賞

学部	学科名	学年	氏名
文学研究科	真宗学専攻	M2	蟹谷 誓
文学研究科	仏教学専攻	M2	北山 祐誓
文学研究科	哲学専攻	M2	岩崎 紘允
文学研究科	教育学専攻	M2	鈴木 ブリック
文学研究科	臨床心理学専攻	M2	川崎 弘果
法学研究科	法律学専攻	M1	木村 祐子
経済学研究科	経済学専攻	M2	張 迎
経営学研究科	経営学専攻	M2	鄧 林
社会学研究科	社会福祉学専攻	M2	出口 聖人
理工学研究科	数理情報学専攻	M2	森田 直樹
理工学研究科	数理情報学専攻	M2	森本 晃平
理工学研究科	電子情報学専攻	D3	野中 俊宏
理工学研究科	機械システム工学専攻	M2	河原 侑佑
理工学研究科	物質化学専攻	M2	松島 貫
理工学研究科	物質化学専攻	M2	永井 創
理工学研究科	情報メディア学専攻	M2	岡田 創太
理工学研究科	環境ソリューション工学専攻	M2	神田 峻
国際文化学研究科	国際文化学専攻	M2	山田 直史
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	M3	吉井 直道
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	M3	楠木 理奈
政策学研究科	政策学専攻	M2	吉田 智美

(2) 学部優秀賞

学部	学科名	学年	氏名
文学部	真宗学科	4	赤星 俊
文学部	仏教学科	4	縣 優紀
文学部	哲学科	4	二井 真奈美
文学部	臨床心理学科	4	横山 遼
文学部	歴史学科	4	笠原 雄平
文学部	日本語日本文学科	4	長屋 綾乃
文学部	英語英米文学科	4	姫野 聖香
経済学部	現代経済学科	4	鷺見 楓
経済学部	国際経済学科	4	賈 凱翔
経営学部	経営学科	4	佐々木 真奈
法学部	法律学科	4	山口 薫
理工学部	数理情報学科	4	西 真樹子
理工学部	電子情報学科	4	平岩 達也
理工学部	機械システム工学科	4	松岡 颯太
理工学部	物質化学科	4	狩野 稜太
理工学部	情報メディア学科	4	山崎 あかり
理工学部	環境ソリューション工学科	4	関本 紫帆
社会学部	社会学科	4	関 千尋
社会学部	コミュニティマネジメント学科	4	堀井 春香
社会学部	地域福祉学科	4	渡辺 響
社会学部	臨床福祉学科	4	坂内 紗希
政策学部	政策学科	4	倉 寿和
国際文化学部	国際文化学科	4	山崎 なつみ
短期大学部	社会福祉学科	4	辻川 優香
短期大学部	こども教育学科	4	村田 留菜

(3) 学部教育賞

学部	学科名	学年	氏名・団体名
文学部	真宗学科	2	中島 範親
文学部	仏教学科	3	萩野 翔太
文学部	哲学科	4	山形 速人
文学部	臨床心理学科	3	加藤 省吾
文学部	歴史学科	4	日下 智良
文学部	歴史学科	4	山根 有貴
文学部	日本語日本文学科	3	福本 帆夏
文学部	英語英米文学科	4	尾崎 春菜
経済学部	現代経済学科	2	石田 佳大
経済学部	現代経済学科	2	上野 大弥
経済学部	現代経済学科	3	摺木 亮太
経済学部	国際経済学科	3	奥村 龍一
経済学部	－	1	田中 亜海
経営学部	経営学科	4	趙 夢盈
経営学部	経営学科	3	中田 圭亮
経営学部	経営学科	2	近藤 愛花
経営学部	経営学科	1	馬田 莉法
法学部	法律学科	4	宮野 純樹
法学部	－		畠山ゼミ(32名) <2年>梅田菜采・大塚沙理・岡崎太一・岡村瞭太・岡本友里佳・小田菜央・外池薫子・高木紫帆・高橋裕哉・田中将太・西中理・西山誠志・平位里佳・牧本崇秀・三貴代・宮井翔梧・森末祥代<3年>岩脇可廉・岡島勤武・海東大力・北本悠貴・木下航平・倉山祐典・高畠文太・辻梨乃・土海比呂志・西村風人・村上裕也<4年>小澤采奈・西村麻実・西村真優子・山下由規乃
理工学部	数理情報学科	3	牧田 渉
理工学部	電子情報学科	3	三澤 慶悟
理工学部	機械システム工学科	1	吉田 陸
理工学部	物質化学科	3	三木 健司
理工学部	情報メディア学科	3	齊藤 由依
理工学部	環境ソリューション工学科	3	池田 静也
社会学部	社会学科	2	中山 慶子
社会学部	コミュニティマネジメント学科	2	中江 佳奈
社会学部	地域福祉学科	2	村上 真菜
社会学部	地域福祉学科	2	岡原 美沙伎
社会学部	臨床福祉学科	2	吉岡 菜美
政策学部	－		阿部ゼミ(4名) <4年>大山剛史<3年>平田佳佑<2年>香村美蘭・中村裕也
政策学部	－		実践・探究演習若者投票率プロジェクトRyu-Vote(25名) <4年>稲田啓祐(C)・大山剛史・深尾拓史・吉岡佳音(以上3名H)・辺玲奈(W)<3年>新谷田奏子・平田佳佑・福井美奈・松森雄一郎・三戸部香帆(以上5名H)・加藤直揮・堤伸仁・羽山真輔(以上3名J)<2年>香村美蘭・中村裕也・吉原遼(以上4名H)<1年>池田宗磨・伊藤有紗・川口篤周・玉置翔太郎・平間直樹・藤川奏絵(以上5名H)和田風音(L)<院1年>道盛萌(H)・桐敷葵(W)
国際文化学部	国際文化学科	3	池田 由季
国際学部	国際文化学科	2	濱 瑞季
国際学部	国際文化学科	1	水谷 雛
国際学部	グローバルスタディーズ学科	2	荻本 衣里
農学部	植物生命科学科	2	永本 智士
農学部	資源生物科学科	2	林 采香
農学部	食品栄養学科	2	伏見 駿亮
農学部	－		農学部入門ゼミ有志(5名) <2年>角谷穂乃香・稲田遥香・中代華乃・堀田祐輝・<1年>堀添泰葉
短期大学部	社会福祉学科	1	鈴木 ほのか
短期大学部	－		2016年度入学準備サポートプログラムファシリテーター(こども教育学科6名) <1年>金川力也・田端菜美・原田萌里・平野里沙・福井美羽・本間有紗
学部共通コース／英語コミュニケーションコース	経済学部国際経済学科	4	青木基都
学部共通コース／環境サイエンスコース	－		演習Ⅱ北川ゼミ(10名)<3年>木原史智・小出大陽・井優香・岩切一洋・上原菜奈未・谷口史登・藤田陽夏・別符結菜・森奏子・岩田依里香

「多様化した社会を生き抜く」

畑 利和 氏 松栄堂 常務取締役



はた としかず
畑 利和

- 1949年 京都生まれ。龍谷大学卒業後、香老舗 松栄堂に入社。
- 1984年 同社常務取締役就任。
- 香の調合師として長年にわたり松栄堂の香創りを担うとともに、
- 香文化普及発展のため講演・文化活動にも意欲的に取り組む。

本日は、龍谷大学の校友会、また親和会のみなさんということで、私も卒業生の一人でありますから、少しでもお返しできましたらと思い、このように素晴らしい会場で、お話しさせていただく機会をいただきました。本当に感謝しております。

私は、そのように絶えずのごことをポジティブにとらえます。言われたからやるというのではなく、これはいただいたチャンスだと思って、お話しさせていただこうと思います。今日、みなさんはお子さまの就職を含めて諸々、思案されていると思います。私も三人の子どもの親として、いかにほったらかしてきたかと今更ながら反省しておりますが、少しでも、皆さまの参考になればと、私のことや、会社、松栄堂の紹介、どんな人材、どんな人が活躍できるかというようなことを縷々お話し申し上げたいと思います。

私どもの会社は300年くらい前に興りましたが、一番初めの先祖はというと南朝方、後醍醐天皇の忠臣でありました新田義貞の四天王の一人、畑六郎左衛門時能という初めて合戦で犬を用いたと言われる武将だと言われております。関東から新田義貞に従って京都に来まして、京都から、転戦に次ぐ転戦で、北陸方面まで行きました。当時、足利方の斯波高経という武将と戦いまして、相手方は三千、我が方は16騎で果敢にも戦を挑んだのですが、やはり多勢に無勢で最後には壮絶な最期を遂げました。

それが、今の福井県の勝山市の伊知地というところなんです。今もその伊知地に「畑ヶ塚」が残っておりまして、畑時能公を顕彰し、10月25日のお祭りでは社長が代表して参加させていただき、地域の人々と一緒に、時能公を偲んでおります。

時能公の遺児が生き延び、二人の家来に見守られ

て、京都の北部の丹後の方に隠遁するわけです。それから何代かして我々の初代、畑六左衛門守吉という人が、許しを得て、京都に戻って参りました。そして、それから3代目の守経と言う人が御所に仕える主水職という、陛下の体調が思わしくないときに、漢薬香料、いわゆる丁字や桂皮そういうものを煎じて届ける役を仰せつかっていたわけです。その漢薬香料の余ったものから匂い袋を作って、宮中でいろいろな方に差し上げていたら評判になり、陛下の許しを得て、御所の南側に庵をもらい、のれんを掲げたのが1705年ぐらい、宝永2年です。明治30年にはアメリカに輸出を始めました。そして昭和9年には、ピラミッド型のお香を開発して、シカゴの万国博覧会に出展し、表彰をいただきました。そうして2002年には、ISO14001、環境に関することについて認証を得ました。現在の社長で12代目です。社訓は、「お線香のように細く長く曲がることなく いつもくすくす くすぶって あまねく 広く広く 世の中へ」ということで、派手なことではできませんが、お香の世界ですから、本当に静かに京都でお香作りに励んで、今に至っております。年商が約37億、従業員数は200名弱がおります。平均年齢が36才ぐらい、男女比は4:6で圧倒的に女性が多いです。

このような古い会社ですけども、毎年400~500人の学生さんからエントリーいただいて、そのうち7~8人の方に入社していただいております。現在、私どもの会社では、龍谷大学の卒業生は現役で10名おります。そのうちの一人は札幌店長、もう一人は東京店長をやっております。とても優秀な両君で、大変期待しております。決して私が龍谷大学を卒業したから採りなさいというわけではなく、本当に中核を担っていただいているのが、卒業生だということです。また、海外ではアメリカコロラド州ボルダーというところに私どもの会社

がありますが、そこに駐在員が1名、現地アメリカの社員が25名ほどいます。もう一箇所はベトナムのハノイに事務所的なものがございます。そこも駐在員が1名、現地社員は5名おります。そんなことで、海外に向けても拠点を設けております。

私はいわゆる団塊の世代ですが、堀川高校の出身で、当時は制服もなく、流行のアイビールックで登校していました。校歌もなく自由な校風の中で育ち、陸上ばかりの毎日で、勉強もあまりしませんでした。龍谷大学に進学しました。当時は60年安保、70年安保、学生運動が盛んな時代で、私もベトナム戦争反対の活動などをしました。

龍谷大学入学後はフォークソングの任意同好会に入りましたが、3回生の時に、認可同好会にしたいということで、私が中心になって学術文化局と交渉し、フォークソング同好会「黄色いトマト」を立ち上げるといようなこともやっていました。そうして、就職をすることになるのですが、一度東京に出て働き、京都に戻ってからは、同族会社ですから、仕事が出来て当たり前と見られますので、誰よりも早く出社し、仕事の段取りをつけ、冬ならば暖房をつけて部屋を暖め、皆を迎えます。そうして仕事の合間にはお茶の修行といいますが、勉強にも行きました。そこでは、お茶の作法だけでなく、宗匠の人との接し方や謙虚な立ち居振る舞いが、とても勉強になりました。また、1988年にベトナムに仕事で行ったのですが、ベトナム戦争が終わって十数年がたち、ドイモイ政策が進められていた頃です。街には物乞いの子ども達があり、ベトナム政府の方から、そういった一部の子どもにその場、その場で食べ物などあげないように言われました。あげるのなら、全ての子ども達にあげてほしいと。これには、援助をするということを考えさせられました。また、そういう子ども達でも目が輝いていたことも印象的でした。今のベトナムは当時とは全然違います。でも、あの頃の厳しさを忘れないようにしないとイケないと感じています。

また、京都市や伊勢市の伝統産業に関わる会の理事や講師など、いろいろな経験をさせていただきながら、お香作りに励み、「堀川」という売れ筋商品も生み出しました。現在も皆さまに評価していただける新商品をいろいろと展開しています。そのために、今も原材料は自分でアジア諸国に行って調達しています。

さて、次に松栄堂の採用活動や希望する社会人についてお話ししたいと思います。

私どもの会社は、3月下旬に行う会社説明会でエントリーを受け付けます。第1次選考で約100名まで書

類選考します。書類で通った人は、4月中旬に第2次選考があります。そこで、何人かのグループにわけて、私どもの担当がグループに入り、いろんな話を聞きます。4月下旬から5月上旬に第3次選考で10人ぐらいの集団面接を行います。5月下旬には、第4次選考があって、私ども長岡京の工場での仕事を見ていただきながら、説明会を開いて、面接をします。そこで、30人、40人ぐらいに絞り込みます。そして、6月上旬に第5次面接があって、個人面談で、役員や人事担当者、社長が面接をします。そこで、10人弱ぐらいが内定します。その中から、辞退する人もいますので、7~8名の方が決まります。

その採用活動の中で大事にして見ていることは、若者らしい澆刺とした言葉遣い、身だしなみ、プラス思考かどうか、誠実な雰囲気をもっているかどうか、自分の言葉で話しているかどうか、家族を大切に思っているかどうかです。様々な質問をする中で、わかってきます。また、その会社のことをどれだけ知っているか、ということは熱意があるかということです。面接の中で、松栄堂のことをこれは知っているか、あれを知っているかと聞きます。全て知っていることは難しいと思いますが、今後勉強しますというポジティブな姿勢が見えればよいと思います。また、異例なことですが、松栄堂では、一度採用見送りになった学生さんの熱意によって、再試験の上、採用とし、活躍された社員がおります。

諦めないということも大切だと思います。最終的には、この人に我が社の仕事を安心して任せられるかということを見ています。

また、学生さんには就職活動をしていく上で、その企業がどんな人材を必要としているか、自分は適合しているかということもしっかり見てほしいと思います。会社にとっても、学生さんにとっても妥協することは良い結果を生みません。しっかり何がしたいという目標を持ってやっていくこと、自分の考えを伝えることが出来るコミュニケーション力、他人との信頼関係をしっかりと築くことをして行ってほしいと思います。

多様化した中で仕事をしていく為には、自分のやっていることがやがていのあることかどうかは大切です。誰かにやらされているのではなく、自分が率先してやっているかどうか、そんなポジティブな前を向いた仕事をやっていける人が、伸びていくと思います。

以上、私の今までの経験、私どもの会社で考えていることをお話しさせていただきました。どうも、ご静聴ありがとうございました。

Information

九州北部豪雨に伴う各種奨学金のご案内

7月の九州北部豪雨により被災されました皆さまに心から哀悼の意を表するとともに、お見舞い申し上げます。

親和会では、被災した学生・ご家族に対しまして、親和会自然災害特別見舞金制度を設けている他、その他奨学金事業も実施しております。申請窓口は学生部となっておりますので、ご相談ください。

第43回 龍谷大学成人のつどいを開催します

龍谷大学の「成人のつどい」は1976年に始まり、このたび43回を迎えます。

本年度の開催は、2017年12月17日(日)で、13:00より顕真館にて式典、14:30より記念パーティー・抽選会を予定しています。今年度20歳になる新成人の皆さんには宗教部から案内がきを送付いたします。昨年までの成人のつどいに参加できなかった人や、新成人を応援しようという人もご参加いただけます。本学ならではの荘厳で、またご家族や友人・先輩とともに迎える和気藹々とした成人式はきっと想い出深いものになるでしょう。保護者のみなさまもぜひご参加ください。参加は無料です。詳しくは宗教部までお問い合わせください。



ホームカミングデー2017を開催します

在学生の保護者・卒業生の皆さまを対象に「ホームカミング・デー2017」を開催いたします。開催日は、10月28日(土)に瀬田学舎、11月4日(土)深草学舎を予定しています。今年度も学生による学園祭「第95回龍谷祭」に併せて実施し、当日ご来場の保護者の方には、模擬店利用券をお配りします。また、事前申込が必要ですが、西本願寺ツアーも企画しています。詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

複数在籍者の親和会費一部返金手続きについて (1回生保護者対象)

親和会費は、「1会員(保護者)1会費」としていません。本学にお子さまが2名以上在籍している場合は、最上級生1名分を除き、親和会費をいただいております。

但し、新入生については、入学手続きの関係により会費を一律にいただいておりますので、同封の会費返金申請書にて返金申請をお願いします。お手数ですが、親和会事務局までFAXまたは郵送にてご送付ください。

2017年度第1学期(前期) 成績表を保証人宛に送付します

年2回(3月・9月)、保証人宛に成績表を送付しております。9月下旬に、第1学期(前期)の成績を反映しました成績表を送付いたします。学修状況の確認、親子間のコミュニケーション等にお役立ていただければと思います。

なお、成績表や各種ご案内などを送付させていただくため、送付先住所に変更がございましたら、必ず学生で本人が各学部教務課で「保証人の住所変更手続き」を行っていただくようお願いします。

セミナーハウス「ともいき荘」をご活用ください

セミナーハウス「ともいき荘」は、京都御所近くにあり、学生の正課授業(ゼミ)や課外活動だけでなく、保護者の皆さまにもご利用いただけます。

1泊4,762円〜ご宿泊いただけます。その他利用方法等については、「ともいき荘」ホームページよりご確認ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/tomoikiso/>

Schedule 2017年10月~2018年3月

月	内 容	日にち	対 象
10月	授業実施日	9(体育の日)	全学共通
	報恩講	18	全学共通(終日休講)
	履修辞退受付期間	23~27	学部・大学院
	龍谷祭(瀬田)	26・27	短
11月	龍谷祭(深草)	28・29	全学共通(28日:全学終日休講)
12月	龍谷祭(深草)	3~5	全学共通(4日:全学終日休講)
	授業実施日	23(天皇誕生日)	全学共通
	冬期休業	27~1/5	学部・大学院
	一斉休暇	19~1/5	短
1月	授業再開	29~1/5	全学共通
	第2学期授業終了	6	全学共通
	集中補講日	20	学部・大学院
	第2学期定期試験期間	22	学部・大学院
	後期授業終了	23~29、2/2	学部・大学院
	補講日	20	短
	後期定期試験期間	22	短
	春期休業	23~29	短
2月	第2学期定期試験期間(予備日)	30~3/31	短
	春期休業	2	学部・大学院
	集中・補講期間	3~3/31	学部・大学院
	追試験期間	2~5	短
3月	卒業式	14~16	全学共通
		15	深草学舎/文・済・営・法・政・国・短
		16	瀬田学舎/理・社(大学院含む)
		17	深草学舎/大学院(文・法・済・営・政・国)
	学年終	31	全学共通

※略称 「文」=文学部 「済」=経済学部 「営」=経営学部 「法」=法学部 「政」=政策学部
「理」=理工学部 「社」=社会学部 「国」=国際文化学部、国際学部 「農」=農学部 「短」=短期大学部
「学部」=全学部(短・大学院除く)対象 「大学院」=全研究科対象 「全学共通」=学部・大学院・短の全対象

■Schedule [保護者用]

開催日	内 容
2017年10月16日(月)	第1回親和会役員会
2017年10月28日(土)	ホームカミング・デー2017(瀬田キャンパス)
2017年11月4日(土)	ホームカミング・デー2017(深草キャンパス)
2018年1月22日(月)	第2回親和会役員会



保護者相談窓口のご案内

親和会では保護者(保証人)の皆さまの疑問に答えるべく、専用電話とメールアドレスを設けております。親和会事業についてはもちろんのこと、大学に対する各種お問い合わせ、相談、ご要望など、お気軽にお寄せください。

保 護 者
相 談 窓 口

親和会事務局直通電話:075-645-2780 (9時~17時[土・日・祝日、大学一斉休暇日休業])
メールアドレス: sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp
ホームページ: <http://www.ryukoku.ac.jp/parents/index.php>